

⑫

赤田地区の鎮守さま

# 赤田八幡社



中井町の五所ノ宮に五所八幡という神社  
こしよはちまん  
 があります。平安時代末期中村庄司宗平と  
なかむらしようじむねひら  
 いう武士が周辺の中村荘を支配してい  
ぶし しゅうへん なかむらしよう しはい  
 ました。この中村氏は源頼朝の有力な  
みなものよりとも ゆうりよく  
 部下で、保元2（1157）年、五所八幡  
ぶか ほげん  
 を創建したといわれています。五所八幡の  
そうけん  
 縁起の中に祭礼のことがあり、文亀元（1  
えんぎ さいいい ぶんぎ  
 501）年より慶長17年（1613）年祭  
けいちよう  
 礼中止になるまでの間、5か所から神輿が  
みこし  
 参加しており、その一つが赤田八幡社の神  
あかだはちまんしや  
 輿で、祭礼中止となった以後も延宝8（16  
えんぼう  
 80）年まで祭礼に参加しています。



赤田八幡社には多くの棟札があり五所八幡と  
むねふだ  
 同じ保元2年に創立され、文亀6年の棟札には  
 中村吉能という名があり、この人は中村氏の  
まつえい  
 末裔といわれています。  
 また、五所八幡に2基の神輿があつて、1基  
き  
 は赤田八幡のものといわれ、一説によると延宝  
 8年6月晦日の祭りは大変な集中豪雨とな  
みそか  
 り赤田の人々はやむを得ず神輿を置き去りにし  
 たものといわれ、昔から五所八幡と深い係りの  
 ある事がよくわかります。